

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 発掘調査費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化財保護センター 管理調整係

電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 466,041 千円 (前年度予算額：368,445 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	368,445	0	0	0	0	0	366,968	0	1,477
要求額	466,041	0	0	0	0	0	464,815	0	1,226
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

国、県の開発事業に伴い、事業予定地内の遺跡の記録保存のため、発掘調査及び研究、出土遺物の保存・活用を行う。

(2) 事業内容

【調査遺跡】発掘 7 遺跡 整理 4 遺跡 報告書刊行 4 遺跡

<国事業関連>

- ・岐阜東バイパス 1 遺跡 (発掘)
- ・中部縦貫自動車道高山清見道路 3 遺跡 (整理 1、報告書刊行 2)
- ・国道 19 号瑞浪恵那道路 5 遺跡 (発掘 3、整理 1、報告書刊行 1)
- ・奥ノ洞砂防堰堤工群及びバンタ川第 1 砂防堤建設 1 遺跡 (整理、報告書)

<県事業関連>

- ・大垣養老公園線 1 遺跡 (発掘)
- ・大野揖斐川線 1 遺跡 (発掘、整理)

<ネクスコ関連>

- ・東海環状自動車道四車線化 1 遺跡（発掘）

(3) 県負担・補助率の考え方

国事業、ネクスコ：受託事業（10/10） 県事業：県負担

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
発掘調査費		国関連開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査事業
芥見町屋遺跡	107,840	岐阜市 発掘調査
中切上野1号古墳	669	高山市 報告書
随縁寺裏B地点遺跡	1,061	高山市 報告書
中切上野遺跡	36,767	高山市 発掘調査
釜戸上平遺跡	85,246	瑞浪市 発掘調査
名滝遺跡	23,799	瑞浪市 発掘調査
毘沙門遺跡	73,095	恵那市 発掘調査
公文垣内南遺跡	14,023	瑞浪市 発掘調査
土岐上平遺跡	1,572	瑞浪市 報告書
中村遺跡	18,201	揖斐川町 発掘調査
柿田遺跡	102,542	可児市 発掘調査
小計	464,815	
発掘調査諸費（県事業分）		県関係事業に伴う埋蔵文化財発掘調査諸費
明德遺跡	729	養老町 発掘調査関係諸費
六里遺跡	497	大野町 発掘調査関係諸費
小計	1,226	
合計	466,041	
決定額の考え方		

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

発掘調査は原則として国、公団、公社及び県事業は県において、市町村事業及び民間事業は市町村によって実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 埋蔵文化財発掘調査について、開発事業との適切な調整を図り、精度の高い調査・研究を円滑に実施するとともに、調査成果を県民に還元する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

開発事業に係る業務であり、定量的な指標で表すことが困難であるため。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 発掘作業及び整理作業 9 遺跡
 報告書刊行 8 遺跡
 ※発掘調査事業の流れ
 発掘作業－整理作業－報告書刊行

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 発掘作業及び整理作業を実施し、また発掘調査報告書を刊行することで、県民に向けて展示等で成果を発表し、出前授業等の普及活動に生かすことができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	国や県の開発事業に伴って、埋蔵文化財の記録保存を行うために必要な事業である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	国や県の開発事業との調整を図り、計画的に発掘調査事業を完遂している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	発掘・整理作業等の方法・技術についての手引き書を作成したり、作業の一部を外部委託したりすることにより、発掘調査の迅速化を図っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>国や県の開発事業は現在県内各所で展開していて、今後も事業量の増に対して精度を保ち、適切で迅速な発掘調査を実施していく体制が求められる。また、発掘調査によって得られた文化財を、「ふるさと岐阜」の歴史を物語る実物資料として、学校・家庭・地域教育においてさらに積極的に活用する必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>国・県の開発事業は今後も計画されており、継続して確実に実施しなければならない事業であるため、開発事業と適切に調整を図り、中長期的な計画を作成することで、精度を保持しつつ円滑に発掘調査事業を行う。また、発掘調査成果の普及活用に対する県民ニーズに応えるため、埋蔵文化財の普及活用事業を最大限に実施する。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	